

平成23年6月13日
サムシングホールディングス株式会社

平成23年6月9日発売の**日刊木材新聞**に、当社及び子会社(株)サムシング、(株)GIRの地盤・液状化対策に関するサービスが紹介されましたので、お知らせ致します。

日刊木材新聞

平成23年6月9日(木)発売

3面・・・地盤調査や保証含めた総合サービス提供
4面・・・特集 地盤・液状化対策



本件に関するお問い合わせ
サムシングホールディングス株式会社
<http://www.sthd.co.jp/>
03 - 5566 - 5555(代表)

地盤調査や保証含めた総合サービス提供

個々の地盤に対応した4工法を用意 サムシングホールディングス

サムシングホールディングス(東京都、前社長)は、地盤調査・改良・保証、沈下修正といった、地盤に業液注入工法は地盤家に関する様々なサービス(件による)。

サムシングホールディングス(東京都、前社長)は、地盤調査・改良・保証、沈下修正といった、地盤に業液注入工法は地盤家に関する様々なサービス(件による)。

をワンストップで提供している。沈下修正については、事前に地盤調査を行って、個々のケースに見合った最適な工法を提供している。種類が豊富なこと、地盤保証を付けていることが特徴として挙げられる。

沈下修正の工事を行う場合、その後再沈下しないかどうかを事前に地盤調査を行い、地盤の状況を把握したうえで、適切な沈下修正方法を提案する。調査費用は税抜きで10万円だ。

4工法のうち、コストが500万~800万円と最も高いのがアンダーピニング工法(写真)で、工期は3~4週間。基礎の下を掘削し、油圧ジャッキ

を用いて、鋼管を打ち込んで、地盤まで圧入し、その反力によって建物を持ち上げる。費用は高いが、再沈下のリスクは少ない安全な工法だ。耐圧版工法の費用は400万円程度。工期は2~3週間。基礎下を掘削するところまではアンダーピニング工法と同じだが、耐圧版を設置して、その上に油圧ジャッキを置いて建物を持ち上げる。費用はアンダーピニングに比べて安い。建物を支える支持地盤が、地表から1~1.5m程度と、比較的浅いところになければこの工法を適用できない。

補安は地盤が深い砂層であるため、アンダーピニングの適用例が多いが、茨城県の鹿嶋市や神栖市は、支持地盤が浅いため、耐圧版工法が多く利用されているという。



アンダーピニング工法は、基礎の下を掘削し、油圧ジャッキを用いて、鋼管を打ち込んで、地盤まで圧入し、その反力によって建物を持ち上げる。

補安は地盤が深い砂層であるため、アンダーピニングの適用例が多いが、茨城県の鹿嶋市や神栖市は、支持地盤が浅いため、耐圧版工法が多く利用されているという。

補安は地盤が深い砂層であるため、アンダーピニングの適用例が多いが、茨城県の鹿嶋市や神栖市は、支持地盤が浅いため、耐圧版工法が多く利用されているという。

補安は地盤が深い砂層であるため、アンダーピニングの適用例が多いが、茨城県の鹿嶋市や神栖市は、支持地盤が浅いため、耐圧版工法が多く利用されているという。

補安は地盤が深い砂層であるため、アンダーピニングの適用例が多いが、茨城県の鹿嶋市や神栖市は、支持地盤が浅いため、耐圧版工法が多く利用されているという。

特集 地盤・液状化対策

東日本大震災を契機に地盤に対する関心が高まっている。津波や原発事故の放射能汚染だけでなく、液状化も深刻な問題として捉えられており、千葉県浦安市は被害が大き

液状化被害で地盤に注目

保険では対応が難しい

く、埼玉県など内陸部でも発生している。住宅だけでなく、新木場の木材団地や鹿島港近辺などでは木材関係企業も液状化の被害を受けている。東日本大震災は非常に広範囲に被害が及び、地震による建物の被害だけでなく、津波や放射能など、その内容も多岐にわたる。地盤に関する

が問題になって、住宅などの不同沈下が浦安市などで発生しており、その被害をどのように救済するかが問題になっている。瑕疵担保履行法でも地盤そのものは対象ではなく、地盤保険という商品も複数の会社から発売されているが、基本的にはPL

保険をベースにした保険のため、地震は免責事項になっている。地盤保険を販売するサムシング日立傘下のGIR（東京都、青木宏社長）は、宮城県で同社の地盤保険「3D」を使用した物件100件について調査を行った結果2件で傾きがあり、サムシングでも全体で5件（震度5以上のエリアの約5000件のうち）に被害があった。1中地盤（震度5弱まで）くらいを想定して

る建物被害も液状化だけではなく、仙台市周辺部では造成地の崩壊といった被害も伝えられている。液状化

解析を行っているので、事故は少ない（GIR）。施主からは、「地震に対する補償を付けて欲しい」という要望が多いが、現在の地盤保険では難しい」（同社）。震災後の沈下修正の依頼、問い合わせは非常に多いという。